

4 . 学 校 紹 介

佐倉市立幼稚園

小学校

中学校

佐倉市立佐倉幼稚園



中村園長

【園長先生から一言】

創立94年目となります佐倉幼稚園には、園庭に、だれからも親しまれている「とちの木」があります。この「とちの木」と共に歩んできたと言っても過言ではありません。この雄大にそびえる「とちの木」のように、やさしく、たくましく育てていってくれる園児であることを願っています。そして明るい笑い声が毎日聞こえてくる心の豊かな環境の中で、元気いっぱい遊べる幼稚園でありたい。

【今年度の教育目標】

「幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成する」。

明るく元気な子ども（心身とも健康で、たくましい子）

最後までがんばる子ども（遊びや仕事に積極的に取り組み自ら問題解決する子）

みんなと仲良くできる子ども（友達と楽しく遊んだり、仕事をしたりする子）

佐倉市立和田幼稚園



山田園長

【園長先生から一言】

本園は昭和48年に創立し、山畑などに囲まれた自然豊かな田園地帯の中に位置しています。園庭も明るく花々が咲きほこり、その中で子ども達は伸び伸びと元気に過ごしています。また、和田小学校とも併設しているため、避難訓練・運動会などの行事を合同で行っています。特に1・2年生との交流は多く、幼小のスムーズな接続を図っています。地域の2・3歳児の交流も取り入れ、子育てを支援しています。

【今年度の教育目標】

『物事に意欲的に取り組み、自己充実していくことのできる子どもに育てる。』

心身ともに健康な子ども（健康・たくましい）

明るく情操豊かな子ども（明るい・やさしい・感動する）

友達となかよく遊べる子ども（思いやり・協力する）

我慢強い子ども（よく考える・努力する）

佐倉市立弥富幼稚園



【園長先生から一言】

本園は在籍数16名と小規模の幼稚園です。弥富小学校と併設しているため、合同で実施する行事が多くあります。園歌にもあるように、「いちごに ひまわり さつまいも」との歌詞のように、緑豊かで花にあふれています。この豊かな環境を生き、4歳児、5歳児の交流を深めながら、小学校との連携も計画的に行うことで、小規模園ならではの特徴を生かした保育をしていきたいと考えております。

【今年度の教育目標】

『豊かな人間性や社会性の基礎を培い、心身ともに健康な幼児を育てる』

こころのやさしい子

- ・思いやりがある子ども
- ・協調する子ども
- ・生命の大切さがわかる子ども

(生活の中で道徳性の発達を促す)

たくましい子

- ・元気に遊ぶ子ども
- ・自分のことは自分でできる子ども
- ・がんばりのきく子ども

(心身の健康や体力と幼児自身の自立)

佐倉市立佐倉小学校



【校長先生からの一言】

保護者、地域から信頼され支えられる学校創りをめざして遠足や集会などの学校行事に保護者の参加を呼びかける学校内外(登下校)の安全確保協力体制を整備する一人ひとりの基礎学力・体力の向上を図る読書活動や歌声活動を一層向上させるすすんであいさつする習慣をつけるなどを重点に、歴史と伝統の中で586名の子ども達を、大きく育てます。

【今年度の教育目標】

『自ら学ぶ力をそなえた、心豊かなたくましい子どもの育成』

まごころ教育の推進

「まごころ」教育を教育活動の基本とし、知育・徳育・体育の調和がとれた人間性豊かな児童の育成をめざしています。

- 望ましい児童像 -

- よいあいさつをする子
- すすんで学習する子
- すすんで体をきたえる子
- なかよく助け合う子

佐倉市立内郷小学校



川上校長

【校長先生からの一言】

印旛沼の南、自然豊かな岩の台地にある学校で、校庭は児童、保護者、職員が育てた草花でいっぱいです。

JRC活動、近隣の特別養護老人ホームや幼稚園との価値ある交流・体験活動を通して、子ども達は人を思いやる温かな心を持ち仲良く学校生活を送っています。140名の児童は、豊かな表情で活気あふれるあいさつができます。学校の歴史は古く、来年は創立100周年を迎えます。

【今年度の教育目標】

『新しい時代をたくましく生きる、心豊かな児童の育成』

《めざす学校像》

信頼と愛情に結ばれた学校
清潔で美しい学校
創意と活力に満ちた学校

《めざす児童像》

心のあたたかな子
元気に体をきたえる子
進んで学ぶ子

佐倉市立臼井小学校



河地校長

【校長先生からの一言】

印旛沼の畔にあり、印旛沼はもちろん臼井城址、宿場町としての臼井、道標、佐倉ふるさと広場など、学べるものがたくさんある臼井小学校。

豊かな自然と、地域全体で子ども達を見守ってくださるすばらしい環境に恵まれ、元気いっぱいやさしさいっぴいの臼井小学校です。

この環境を活かし、子どもたちに故郷を巡らせ故郷を知り、体験を通して、故郷の歩み、すばらしさを、学ばせていきたいと思ひます。

【今年度の教育目標】

『かしこい子どもの育成』

めざす児童像

勉強する子（読み書き計算が得意で、学び方を身につける子）

やさしい子（みんなとなかよしで、お年寄りや小さい子にやさしくする子）

元気な子（明るく元気で、体を鍛える子）

佐倉市立印南小学校



【校長先生からの一言】

本校では、千葉県と佐倉市から「体力向上推進モデル校」の指定を受け、「心も体もたくましい元気な子」の育成に力を入れています。

体育の授業では、「場や用具」「仲間とのかわり」「運動量の確保」などに工夫を凝らし取り組んでいます。11月2日には研究の一端を公開する予定です。

多くの皆さんの参観をお待ちしています。

【今年度の教育目標】

「自ら考え、行動する たくましい印南っ子」

めざす児童の姿

- ・考える子（進んで学び、豊かに表現できる子）
- ・思いやる子（やさしく思いやりのある子）
- ・元気な子（心も体もたくましい元気な子）

「一人ひとりが輝く楽しい学校」づくりを目指しています。

重点目標

- ・基礎基本、学力の定着
- ・ふれあい活動の充実
- ・運動に親しむ態度や能力の育成
- ・勤労観の育成
- ・佐倉学を中心とした地域人材の活用

佐倉市立千代田小学校



【校長先生からの一言】

今年度は135年目になる千代田小学校は「自然にかこまれた環境」と「洗練され調和のとれた地域」が大きな特色です。校庭には樹木も多く、遊具も充実し、休み時間には子ども達のがのびのびと活動する姿が見られます。古くから「国際理解教育」に取り組み、一年生から英語に親しむ活動をしています。平成元年よりオランダの小学校と交流をしています。今年度はオランダを来訪する年にあたっています。

【今年度の教育目標】

「かしこく、やさしく、たくましい子の育成」

<今年度の重点>

学習指導を充実する。

基本的生活習慣の定着を図る。

話し合い活動を見直し、自治活動を活発化させる。

「ピアサポート」「理科研究」を中心に研修を行う。

教師の指導力の向上を図る。

小中の連携を図る。

施設設備の改善を図る。

佐倉市立上志津小学校



高橋校長

【校長先生からの一言】

「かがやけ上志津っ子」のスローガンの基、今年度、めざせ金メダルのまよめの取り組みをします。常に、子ども達に努力する方向性を持たせる

ことや自己を振り返る機会を設け改善する、よりよくするという積極的な意欲を高めていくことに力を注いでいきます。

また、外部人材活用を積極的に取り入れながら、食育を中心とした健康教育を進めることにより健康な心と体づくりを目指します。

【今年度の教育目標】

健康な心と体で、かがやけ上志津っ子 ~ キラリとかがやく一年にしよう ~

かしこい子（学びの金メダル）、がんばる子（努力の金メダル）、やさしい子（心の金メダル）、けじめのある子（節度の金メダル）

今年度は、金メダルの取り組みの最終年度として、重点事項を決め、基準を一層明確にして、数値目標や具体的方策を持ち、評価することを通して、具体化を図る取り組みを充実したいと思います。

佐倉市立志津小学校



菅原校長

【校長先生からの一言】

今年度、創立134年目を迎える志津小学校です。本校の自慢は、明るく伸びようとする子ども達と、学校を支援してくださる保護者、地域の

方々です。お陰様で、月曜から金曜の毎日、各種の多くのボランティアの皆さまによって見守られています。私たち職員は、子ども達が学校で楽しく学び、人間関係を学び、社会に出て活躍するための基礎を身に付けさせることが責務であると考えています。

【今年度の教育目標】

しづっこ（志津っ子） - 『し』っかりと聞いて話せる子 『づ』つながりを大事にする子 『っ』強い体をつくる子 『こ』こころ配りのできるやさしい子 -

昨年度は、教育目標を「しづっこ（志津っ子）」と関連させ、いつも児童の心の片隅に置き、目標とし取り組んできました。その結果、教育目標が児童に浸透してきました。

今年度もこの目標を継続し、キャリア教育や環境教育を視野に入れ、「やさしく、かしこく、たくましい志津っ子」を育成していきたいと考えています。

佐倉市立下志津小学校



【校長先生からの一言】

「かがやけ！下小の子」をめざし、次の五つのことに取り組みました。「あいさつができる。時間を守ることができる。話をきちんと聞くことができる。そうじができる。正しい言葉づかいができる。」これらを立派に実践している子がたくさんいます。昨年は、下志津小を卒業した上志津中学校の生徒が校舎内の塗装をしてくれ内外ともに明るい学校となりました。たてわり活動が生きています。

【今年度の教育目標】

意欲を持って自主的に活動する子の育成

学習する子（自学自習） 助け合う子（協力礼儀） 健康な子（健康安全）

スローガン『レッツ・チャレンジ・下志津の子』 - 遊ぼう・学ぼう・仲良くしよう -

小中高連携教育の推進と地域との連携の深化を基に教育活動の充実を図る。

保護者・地域と共に歩み、児童にとり、心のふるさととなるよう、夢を持って明るく、楽しく、安全に過ごせる学校となるよう全職員力を合わせて努力する。

佐倉市立南志津小学校



【校長先生からの一言】

創立34周年を迎え、緑いっぱいの豊かな自然と保護者や地域の方々の思いが込められた美しい花に囲まれた学校です。地域推進会議を中心に地域活動への児童参加、学校教育への地域住民参加という相互交流により教育活動の充実を図っています。「あいさつがあふれる学校」・「豊かで確かな学びがあふれる学校」・「歌声いっぱいの学校」「花いっぱいの学校」を旨としています。

【今年度の教育目標】

心豊かなたくましい児童の育成

～生きる力の基礎となる心情・意欲・態度の育成を通して～

めざす児童像 元 気（元気な子ども） やる気（やる気のある子ども）
根 気（根気強い子ども） 優 気（優しい子ども）

今年度の重点と努力事項

「生きる力」を育む教育の推進	学級経営の充実
確かな学力の向上	開かれた学校づくりの推進
安全できれいな教育環境の整備	

佐倉市立根郷小学校



井口校長

【校長先生からの一言】

「進取の心」を校訓とし、自ら学び実践しようとする児童「佐倉人氣質」の育成を目指します。「佐倉学」の学習を通して、「目標に向かって惜しみなく努力する姿勢」や「ふるさとを大切にし、郷土に誇りをもつ心」を育てます。明るい笑顔で元気いっぱい挨拶できることが挨拶です。ふれあいボランティアに見守られ安全な学校生活です。朝の読書やドリルタイム（漢字・計算）は毎日実施します。

【今年度の教育目標】

「実践力のある個性豊かなたくましい児童の育成」のため、下記具体的目標としました。

花がいっぱい・・・花が咲き、まわりが整った学校、清潔できれいな学校。

笑顔がいっぱい・・・明るい挨拶を交わし、声をかけ合い協力し合う子どもがいっぱいの学校。

やる気がいっぱい・・・喜んで登校し、元気に運動し、はりきって学習する子どもがいっぱいの学校

佐倉市立和田小学校



山田校長

【校長先生からの一言】

本校は佐倉市の南部に位置し、豊かな自然に囲まれた学校です。農村地帯であることから、祖父母と三世代同居している家庭が多く、子ども達は優しく思いやりがあります。また、保護者や地域の学校教育への関心は高く、大変協力的です。児童数97名の小規模校なので、休み時間には図書室で6年生が1年生に読み聞かせをしたり、校庭で一緒に遊んだりする場面が見られるなど、異学年交流が盛んです。

【今年度の教育目標】

『みんな仲良くたくましく』

めざす児童像

- (1) 全校で助け合い、協力できる子ども (徳)
- (2) 自ら問題意識をもち、進んで学習に取り組む子ども (知)
- (3) 健康安全に気をつけ、自ら運動に挑戦する子ども (体)

佐倉市立弥富小学校



高野校長

【校長先生からの一言】

本校は農村地帯にあり地域の人々と豊かな自然に恵まれています。まさに地域に支えられている地域立の学校です。全校児童68名と小規模であることと弥富幼稚園が併設されている特徴があります。小人数という利点を生かし、一人ひとりの児童にきめ細かな個別指導を充実させ、学力の向上を図ってまいります。また、市内のどこからでも転入学が可能となる小規模特認校を見据えた取り組みを充実させます。

【今年度の教育目標】

『学び合う子』 - - 感じる 考える 関わる - -

日常生活全般の中で、五感を通して疑問を持ち、課題解決のために情報を取捨選択し、考えたことを言葉や文字に表現し、他と関わり互いに磨き合いながら自他の尊重、協働の精神を涵養してまいります。

【今年度の重点目標】

1. 明るい挨拶、元気のよい返事ができる子どもを育てる。
2. 常にめあてを持ち、時と場に合った適切な行動をすることができる子どもを育てる。
弥富小学校で学んで本当に良かったと評価される学校を目指します。

佐倉市立井野小学校



本原校長

【校長先生からの一言】

「長割の 若葉の丘に 集まりて」、これは本校校歌の一節です。縄文後晩期(4000年~3000年前)の遙か昔が偲ばれる井野長割(いのながわり)遺跡(約66,000㎡)が眠るなだらかな丘、ちょうどその中心に建つ珍しい学校で、井野っ子山と称して子ども達の夢を育ててきた学校林も今は国指定史跡の一部。見上げるほどの「コナラ」や「クヌギ」の雑木林が歴史を語り伝える学校でもあります。

【今年度の教育目標】

『豊かな心を持ち、健康でたくましく生きる人間の育成』

目指す児童像

努力点

- 夢を持ち、やる気がいっぱいの子ども(楽しく学ぶ子)
気づいて行動し、誠実に取り組める子ども(気づき行動する子)
子どもを大切に、笑顔のあふれる子ども(やさしい子)
- ・本をたくさん読む子にします。(朝読書、七五三読書 *郡読)
 - ・返事、挨拶、心配りのしっかりできる子にします。(井野っ子粋な仕草)
 - ・ルールを作って遊べる子にします。(みんなの時間、縦割り活動)

佐倉市立佐倉東小学校



上野校長

【校長先生からの一言】

今年度、水曜日の昼休みを50分間とし、昼の清掃をカットしました。本校では、「なかよし」を合言葉として、様々な機会をとらえて活動を推進してきてまいりましたが、活動の場をより一層保障するという意味合いから設定しました。ある時は同じ学級の友達とある時は異学年の仲間と、思いっきり群れ遊んで欲しいのです。コミュニケーション能力が話題となっている今日的課題への取り組みでもあるのです。

【今年度の教育目標】

『人間尊重の精神に富む豊かな心と正しい判断力を持ち、進んで学び実践できる児童の育成』

【目指す学校像】

- ・花が咲くきれいな学校
- ・挨拶が交わされる学校
- ・笑顔があふれる学校
- ・やる気いっぱいの学校

【目指す児童像】

- ・進んで学習に取り組む子
- ・仲良く助け合う子
- ・進んで運動する子

佐倉市立西志津小学校



石田校長

【校長先生からの一言】

人の心の豊かさは、人と関わり合うことから育てられます。豊かさは明るいあいさつに表現することができます。一日のはじまりは、気持ちのよいあいさつから始めたい。明るい笑顔にのせたあいさつは、人の心を和ませ、豊かにもするものです。

あいさつを交わし合うことは気持ちがよく、いいものだとして子ども達に感じさせたい。

明るいあいさつの通いあう学校にしたい。

【今年度の教育目標】

『思いやりのところをもち 知性豊かなたくましい子ども』
求める児童のすがた

めざす学校のすがた 「明るい声がひびきわたる学校」

おもいやり
学びあい たくましさ

- ・きれいな学校
- ・歌声が響く学校
- ・本の風景が似合う学校
- ・規律ある学校
- ・明るいあいさつが通い合う学校

佐倉市立小竹小学校



【校長先生からの一言】

開校以来のシンボルカラーであるオレンジ色の校旗がたなびいている校庭では、明るい笑顔と活発に体を動かす小竹っ子でいっぱいです。

校庭のまわりは、緑豊かな樹木やつつじの生け垣に囲まれ、花壇には、常に花がいっぱいです。季節感を味わいながら体験活動を取り入れ、身近な地域の教材を活用した授業を進めています。「明るくきれいな学校、美しい歌の響く学校」でありたいと考えています。

【今年度の教育目標】

『夢をもち、21世紀をたくましく生きる心豊かな小竹っ子の育成』

めざす小竹っ子像を「元気な子」「やさしい子」「考える子」として、児童一人ひとりを認め伸ばす、創意に富んだ学校づくり、教職員が各自の特性を生かし、協力し合って教育に励む活気ある学校づくり、家庭や地域社会との連携を深め、信頼される学校づくりを進めていきます。今年度は、国語力の向上と福祉教育を重点にして取り組んでいきます。

佐倉市立間野台小学校



【校長先生からの一言】

創立27年目を迎える本校は、住宅街の中にありながらも校庭と公園が一体となり、地域に開放された緑豊かな環境にあり、地域とともに育ってきた学校です。保護者や地域の方々、教育ボランティアの方々、労を惜しまず子どもたちを見守り、安全で安心な学校づくりのためにご協力くださっています。人の心の痛みが分かるあたたかな心を持った子ども達、学習に運動に、のびのびと活動しています。

【今年度の教育目標】 『心豊かで進んで学ぶ、心身ともにたくましい子どもの育成』

- 1 めざす児童像
 - ・仲良く助け合うやさしい子（やさしさ）
 - ・進んで学びよく考える子（かしこさ）
 - ・体をきたえる元気な子（たくましさ）
- 2 めざす学校像
 - ・学ぶ喜びいっぱいの学校（わかる授業、育ち合う活動）
 - ・美しい環境の学校（清掃、掲示）
 - ・家庭や地域社会と連携する学校（安全、健全育成）
- 3 今年度の重点
 - ・生徒指導の機能を生かした学習指導の工夫、改善
 - ・地域に根ざし、地域に開かれた学校の創造

佐倉市立王子台小学校



【校長先生から一言】

本校は住宅地にありながらも近くには豊かな自然が残されており、教育環境に恵まれた学校です。学区内の様々な専門的知識を持った方がボランティアとして、子どもたちの学習を支援していただいています。王子台小学校に学ぶ全ての子どもたちには、切磋琢磨しながら自分の能力を伸ばすと共に地域の一員としての自覚を持ち、人との関わりを大切にし、思いやりのある人になってほしいと願っています。

【今年度の教育目標】

『一人一人のよさが発揮でき、学び喜びを感じる楽しい学校づくり』

～ 思いやりの心もち 知性豊かなたくましい児童の育成～

- めざす児童像 -

思いやる子（友愛・協力）、学びあう子（好学・進取）、たくましい子（健康・安全）
「教育は人にあり」を基本理念として、地域や保護者の期待に応えられる教師集団を構築していく。子ども達を「知・徳・体」のバランスのとれた人間を育むために、全職員が知恵を出して教育を推進していきたい。

佐倉市立青菅小学校



【校長先生から一言】

静かな朝の読書、朝の挨拶、そしてさわやかな歌声から青菅小学校のスタートです。本校では、笑顔で明るく行動力のある教師集団が活気ある学校を作ると考えています。活気ある学校で育つ児童は、明るく元気に遊び、思いやりのある子に育ちます。元気に遊べる子は、学習にも前向きになります。職員は、一丸となって子ども達が健やかに成長する学校作りをめざしていきます。

【今年度の教育目標】

『豊かな心を持ち、自らたくましく生きる児童の育成』

- めざす児童像 -

明るい挨拶ができる子・思いやりのある子・進んで学ぶ子・元気に運動する子

- めざす学校像 -

明るく活力みなぎる学校・厳しさと愛情で一人ひとりを育てる学校・保護者と地域から信頼される学校・意欲化と創造性を啓発する学校・清潔感あふれる学校

佐倉市立寺崎小学校



大崎校長

【校長先生から一言】

各学年2学級、全校で12学級に加え、今年度新たに特別支援学級を開設いたしました。児童数は年々僅かずつ減少していますが、豊かな自然環境の中で子ども達は元気に学校生活を送っています。今年度も、「地域に信頼される学校」「来校したすべての人に好感をもっていただける学校」をめざします。また、地域の方々との交流を更に深めつつ、学校教育目標実現のために努力してまいります。

【今年度の教育目標】

『徳育・体育・知育の調和のとれた心豊かなたくましい児童の育成』

《めざす児童像》

- ・礼儀正しく温かい心を持った子ども（豊かな心情と明るい社会性）
- ・健康で体力・気力のある子ども（健康な心身とやりぬく実践力）
- ・知的探求心の旺盛な子ども（確かな学力と発展する問題解決能力）

佐倉市立山王小学校



大谷校長

【校長先生から一言】

季節の移ろいを身近に感じる恵まれた環境の中で伸び伸びと活動する山王っ子は明るく元気な挨拶で一日がはじまります。校歌に詠われているように「元気よく・ささえあって・励もう」を合い言葉にしています。児童数が200人を切り、各学年単学級ですが敬愛短大との交流や異学年交流そして縦割り活動を取り入れて一人ひとりの児童が生き生きと生活している学校をめざしています。

【今年度の教育目標】

『自ら学ぶ力をもち心豊かでたくましい児童の育成』

経営の重点

具体目標の共通理解を図り、基礎学力の定着に努める。
組織マネジメントの発想を生かし、運営を円滑にする。
知・徳・体のバランスよい児童の育成を目指す。
読書活動の推進と国語教育の充実に努め、生きる力の基礎を養う。
地域に開かれた、信頼される学校づくりを目指す。

佐倉市立染井野小学校



【校長先生から一言】

本校は、オープンスペースの良さを活かし、学年経営を重視した教育活動を行っています。毎日の生活の中であいさつができ、言葉遣いに気をつけ、他を思いやる心を育むことに努めています。そして15分単位のモジュール学習を取り入れ、知・徳・体のバランスのとれた教育課程を編成しています。今年度も道德教育と理科教育に重点をおき、心豊かでたくましい児童の育成に努めていきます。

【今年度の教育目標】

『よりよい生き方をめざし進んで学ぶ、心豊かでたくましい子どもの育成』

未来の社会を担う人間としての基礎づくりのために、基盤としての体力、気力を育て、人間として身につけなければならない基本的な事柄を大切にした教育に努め、6年間を見通した計画の中で学年経営を充実させ、創意工夫しながら目標の達成をめざしたい。めざす児童像は次の5項目をあげる。 明るい挨拶をし、友達と仲良く協力し合う子 美と清潔を愛し、心をこめて仕事をする子 人の気持ちを考えて行動する思いやりのある子 よく学び、努力によって自分の力にする子 体を鍛え、健康安全につとめる子。

佐倉市立白銀小学校



【校長先生から一言】

開校以来、地域住民・保護者が学校運営に参画する「学校運営委員会」を設置し、地域の子どもの地域の方と一緒に育て、地域コミュニティ形成の核となる学校づくりを推進しています。今年度は、知育・徳育・体育のバランスを重視するとともに、さらに高水準な取り組みをめざします。また、地域や保護者の方との協働意識を大切にしながら、学習指導や各種体験活動の充実を図ります。

【今年度の教育目標】『自ら学び、人間性豊かで、たくましく生きる子どもの育成』

かしこく：学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ態度を育成するとともに、基礎基本の徹底を図り、「学んだ力を生かす子」の育成をめざします。

なかよく：地域の人々とのふれあいや全校縦割り班活動等を通して、あいさつやマナーなど、「社会生活に生きる力」の育成をめざします。

元気よく：家庭教育との連携を図り、生活習慣や食習慣の形成を図ります。また、自ら進んで体力や健康の増進に努める態度を育み、「生涯体育や健康づくりに生きる力」の育成をめざします。